

10月定例記者会見会議録

2019（令和元）年10月7日（月）午後4時～
市役所本庁4階 406 会議室

1. 市長からの発表

さわやかな秋の風を感じる季節となってまいりました。

10月には、文化薫る伊賀市に相応しい秋の風物詩といえる行事等がたくさんあります。

一昨日は、上野公園で薪能がありました。

10月12日は、芭蕉祭が、18・19・20日には、ユネスコ無形文化遺産に登録されている上野天神祭のだんじり行事が行われます。

この機会を捉え、伊賀の情報をさらに発信し、多くの皆さんにお越しいただきたいと思えます。

さて、本日の私からの発表は、4つあります。

まず、資料No.1の「2020（令和2）年 伊賀市オリジナルデザインの年賀はがきの販売について」です。

「誇れる・選ばれる伊賀市」の実現に向け、市内住民や企業との協働による本市の魅力発信の機会を創出し、シビックプライドの醸成、市外ファン獲得に取り組むため、このたび令和2年正月用の伊賀市オリジナルデザインの年賀はがきを販売することといたしました。

デザインは、キャッチコピーを「いざ忍者市へ」としており、また「芭蕉生誕の地」としてのイラストも加えています。

オリジナルの年賀はがきは、2年前にも販売したところ、大変好評をいただいたもので、今回は、日本郵便株式会社の「広告付年賀はがき」というサービスを利用します。販売枚数は5万枚で、通常の年賀はがきよりも「5円お得」となっております。11月1日（金）から市内の全ての郵便局で販売を開始します。

また、年賀はがきの配達にあわせて元日から「新春プロモーションキャンペーン」として、この年賀はがきを受け取った方を、はがきに記載したQRコードから特設ページへ誘導し、伊賀市のアピールしたい情報を伝えるとともに、ふるさと納税なども紹介したいと考えています。

ぜひお買い求めいただきまして、「忍者市」伊賀を全国に発信していただければと思います。

つづいて、防災訓練に関することです。

10月26日（土）に「緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練」を、27日（日）には、「伊賀市総合防災訓練」を行います。

資料No.2の「緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練」ですが、6,434名の尊い命が失われた阪神淡路大震災の教訓を踏まえ誕生した近畿2府7県の緊急消防援助隊による広域的な訓練です。今年は三重県内の伊賀市・津市・松阪市が会場となっています。

伊賀市では、消防本部訓練場にて複合救助訓練を、しらさぎ運動公園では、後方支援訓練を行います。

また、資料No.3のとおり「2019（令和元）年度伊賀市総合防災訓練」では、午前8時に三田地域内で木津川断層帯の直下型地震が発生し、震度6強が観測されたとして、三訪小学校を会場に三田地区の住民の皆さんが、体育館で避難者の受付、救援物資の受取、避難所の体験などの避難所開設運営訓練を行います。

これらの訓練を通して、災害に対する防災意識の向上、災害に対する行動力を養うこととし、訓練終了後には検証し、市の課題、地域の課題を明らかにし、改善をとるものとします。

つづいて、資料No.4の「IGA NINJA WEEK in TOKYO」の開催についてです。

「例年、首都圏での情報発信事業として「伊賀上野 NINJA フェスタ in 上野恩賜公園」を開催していますが、今年は、広く「伊賀を知り」、「伊賀を体験し」、「伊賀を思い出す」1週間となるよう、「IGA NINJA WEEK in TOKYO」と題して、11月15日～24日に東京都内各所で伊賀にまつわるイベントコンテンツを集中的に開催いたします。

この期間中、在京の伊賀焼の窯元直営ショップでは、伊賀の食材を使った「土鍋ワークショップ」、忍者・忍術に関する話を聞きながら、伊賀酒と伊賀の食材を使った軽食を楽しんでいただく「伊賀流忍者バル～Ninja の話を聞か Night～」のナイトイベントも開催するほか、伊賀市若者会議のメンバーも参加するまちづくりラウンドテーブル「集え！IGABITO～江戸と伊賀 つなぐ架け橋 上野にて～」や、忍者トレイルランニングレースで伊賀の自然の魅力を発信する「NINJA TRAIL RUN グループラン in 東京」などの企画となっており、開催期間の最終は「忍者百人衆」や伊賀上野 NINJA フェスタ in 上野恩賜公園で締めくくりたいと考えています。

すでに観光協会から案内があったとおり、「忍者百人衆」の募集が始まっていること、また、今年新たな取組であることから、少し早い時期ではありますが、この場での紹介とさせていただきますのでご了承ください。

全国で唯一「忍者市」を宣言した伊賀市は、令和2年（2020年）の東京オリンピック・パラリンピック、そして令和7年（2025年）の大阪関西万博を見据え、日本全国、そして世界に向けた情報発信を行い更なる観光誘客を進めたいと考えています。

つづいて、資料No.5「奥瀬英三ミニ回顧展について」です。

11月の伊賀市本庁舎市民ミニギャラリーは、11月23日が奥瀬英三さんの命日にあたることから、「奥瀬英三ミニ回顧展」として、作品を10点展示いたします。

奥瀬 英三さんは、戦前、帝展（帝国美術院展覧会）の審査員、戦後は日展の審査員、参与を務めた上野農人町出身の画家で、地元伊賀においては、大正13年（1924年）に絵画・彫刻を研究する「蒼丘会（社）」を立ち上げ、毎年展覧会を開催されました。奥瀬さんの薫陶を受けた画家として、濱辺万吉さん、松浦莫章さん、中田恭一さんらがおられ、「美術の町上野」を作り上げた功労者です。現代絵画で有名な元永定正さんは、奥瀬さんの弟子である濱辺万吉さんに師事して絵画をはじめました。

ぜひ、ご覧いただきたいと思います。

私からの発表は以上ですが、すでにお知らせをさせていただいておりますが、明日（10月8日）、伊賀市と山添村で、定住自立圏形成協定の締結式を行います。これにより、三重県・京都府・奈良県の3府県、また行政ブロックを跨ぐ、全国的にも珍しい定住自立圏を形成することになります。

そういったこともあって、去る9月30日岐阜県で開催されました、総務省主催の「定住自立圏構想推進セミナー」において、当圏域の取組について、担当課長が事例発表をさせていただきました。

なお、山添村が入ることにより圏域の名称は「伊賀・山城南・東大和定住自立圏」、略称「伊賀城和定住自立圏」となります。今後は4市町村で、住み続けたい魅力ある圏域を創る取組がますます活発になればと思います。

主な質疑応答

【「IGA NINJA WEEK in TOKYO」の開催について】

記者：今年初めてですか。

場所を限定して浅草とかで何かやっていませんでしたか。

観光戦略課：これまでも伊賀の食材を使ったイベントを浅草の方でも行っていたこともありましたが、今回は、伊賀に関係のある窯元のお店とコラボさせていただき開催します。また、他の催しも、それぞれの時期に行っていたものもありましたが、この1週間内にぎゅっと集中をさせて発信力を高めようということで、このような形で開催します。

【奥瀬英三ミニ回顧展について】

記者：奥瀬英三さんの生年没年はいつですか。

文化財課：明治24年2月28日生まれです。

没年は、昭和50年11月23日。

記者：洋画ですか。

市長：洋画です。

元永定正さんの先代の先代というものです。

記者：師匠の師匠ね。

市長：帝展審査員をされていました。最後は浦和で亡くなりました。

2. 10月の主な行事予定

(1)「令和元年度（第73回）芭蕉祭」の開催

日 時 10月12日（土）

① 墓前式典等 午前8時30分～

② 式 典 午前9時25分～午前11時30分頃

内 容 芭蕉翁の偉業を讃えるために、毎年命日の10月12日に開催しております。式典では、今年度の献詠俳句特選者への賞状授与などを行い、式典の最後には、「奥の細道紀行330年紀行キャラバン隊セレモニー」を実施します。

担 当 企画振興部 文化交流課（電話 0595-22-9621）

(2)「第15回伊賀市民美術展覧会（市展「いが」）作品募集

会 期 令和2年3月18日（水）～3月22日（日）

（作品の搬入：令和2年3月3日（火）正午～午後7時）

場 所 伊賀市文化会館（伊賀市西明寺3240番地の2）

内 容 別紙（作品募集要項）

担 当 企画振興部 文化交流課（電話 0595-22-9621）

(3) ハロウィンの絵本や工作を車内で楽しむ『おはなしでんしゃ2』の運行

日 時 10月27日（日）午後2時02分集合

場 所 忍者市（上野市）駅～伊賀神戸駅の往復

内 容 上野図書館で活動している「おはなしボランティアグループ『よもよも』」がハロウィンをテーマとして行う絵本等の読み聞かせを、伊賀市内外の子どもたちとその保護者に楽しんでいただきます。

担 当 伊賀市上野図書館（電話 0595-21-6868）

(4)「組紐国際会議2019伊賀」の開催

日 時 10月13日（日）～10月18日（金）午前9時～午後4時30分

場 所 ①ハイトピア伊賀（受付1階、会場3～5階）

②崇廣堂

内 容 ①組紐国際会議参加者を対象とした基調講演やワークショップなど

②作品展（世界各国のデザイナーの作品や、2000年前のナスカ時代の組紐など展示）

担 当 産業振興部 商工労働課（電話 0595-22-9669）

- (5) 企画展示「図書館資料でみる 奥の細道」の開催
日 時 10月8日(水)～10月30日(日) 午前9時～午後7時
場 所 伊賀市上野図書館 2階 企画展示コーナー
内 容 図書館が所蔵する「奥の細道」関係の図書資料を展示
担 当 伊賀市上野図書館(電話 0595-21-6868)
- (6) 伊賀市本庁舎市民ミニギャラリー(10月展示)
日 時 10月1日(火)～10月29日(火) 午前8時30分～午後5時15分
場 所 伊賀市本庁舎4階吹き抜け西側の壁面
内 容 城 冶州朗(じょう やすお)さんによる絵画作品11点
担 当 企画振興部 文化交流課(電話 0595-22-9621)
- (7) 第17回「人権と平和」学習会 原爆展の開催
日 時 10月11日(金)～10月20日(日) 午前9時～午後5時
※土・日・祝日 午前9時30分～午後3時30分
場 所 下郡教育集会所1階 和室(伊賀市下郡84番地1)
内 容 原爆展(複製画展示・パネル展示)
被爆体験者が当時見た光景を表現した「原爆の絵(複製画)」の展示は、
伊賀市では初めてとなります。
担 当 人権政策部 同和課 下郡市民館(電話 0595-37-0558)
- (8) 「2019年10月 寺田市民館 じんけんパネル展」の開催
日 時 10月1日(火)～10月30日(水) 午前9時～午後5時
※平日のみ
※8日(火)・15日(火)は午後7時30分まで延長
場 所 寺田教育集会所 第1学習室(伊賀市寺田225番地)
内 容 「かがやく子ども ～すべての子どもが主役～」
担 当 人権生活環境部 同和課 寺田市民館(電話 0595-23-8728)
- (9) 「2019年10月 いがまち人権センターパネル展」の開催
日 時 10月8日(火)～10月24日(木) 午前9時～午後5時
※平日のみ
※10日(木)、17日(木)は午後7時30分まで延長
場 所 いがまち人権センターホール(伊賀市柘植町8898番地)
内 容 「同和問題を解決するために歴史から学ぶこと」
担 当 人権生活環境部 同和課 いがまち人権センター(電話 0595-45-4482)

(10) 子育て広場「にんにんパーク」事業の開催

日 時 10月13日(日)・11月10日(日) 午前10時～午前11時30分
場 所 上野南公園「にんにんパーク」内(伊賀市ゆめが丘七丁目13番地)
内 容 10月13日(日) スタンプラリー「公園の秋を探そう」
11月10日(日) にんにん音楽祭
担 当 健康福祉部 こども未来課(電話 0595-22-9665)

主な質疑応答

【「令和元年度(第73回)芭蕉祭」の開催について】

記 者：台風が来た場合、会場の変更はありますか。

市 長：台風の進路によって来る可能性もあると思いますが、水曜日あたりで、もう一度しっかり進路等々を確認した上で、どのようにするか考えたいと思います。選択肢としては、少雨であれば雨天決行。もしくは、大雨になって荒れればもうこれは取り止め。また、場所を変えて表彰授与を行うことなど色々な選択肢があると思います

【「組紐国際会議 2019 伊賀」の開催について】

記 者：組紐国際会議の概要はどのようになっていますか。

商工労働課：全体会議等の説明をさせていただきます。平成19年(2007年)に入って初めて京都で開催されました。その後、イギリス、アメリカと渡り、再び日本ということで、伊賀で開催されることになりました。事務局の組紐・組物学会は、京都工芸繊維大学にあります。伊賀市としては、会場提供などのサポートをします。基調講演とワークショップがハイトピア伊賀で交互に行われ、作品展は主に崇廣堂で行います。10月14日(月・祝)8時半からオープニングイベント、9時から基調講演があります。大会の実行委員長の廣澤氏(伊賀上野観光協会会長)、岡本市長がオープニングイベントで歓迎の挨拶などをします。